

日本鐵鋼協會記事

◎評議員會

大正十一年十二月一日午後五時より本會事務所に於て評議員會を開き、左の事項に就きて協議せり。

一、工業品規格統一調査會照會の鍛鋼品、鑄鋼品及び鍊鐵の規格統一案の件

右は相當のものと承認せられたり。

一、各官省に於ける需要鋼材取調の件

一、製鐵業用語選定の件

一、明年一月「鐵と鋼」の特別號「印度號」發行の件

一、帝國發明協會照會の明年三月開催發明品博覽會（別項記載）に出品勧誘の件

一、製鐵業合同整理に關する建議書の件

右は修正の上建議することに決議せり

一、工學會定款並に規則修正の件

一、入退會者に關する件

一、新會員募集の件

一、其他會務に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

俵 國一君 香村 小録君 鹽田 泰介君

河村 驍君 種子田右八郎君 桂 辨三君

吉川 雄輔君 日向 庄作君 工藤 治人君

◎製鐵業合同整理に關する建議書

大正十一年十二月一日の評議員會に於て審議の上左記の建議書を作製し同年十二月十六日、當局官省並に關係諸方面へ提出せり。

製鐵業合同整理に關する建議書

日本鐵鋼協會評議員會

製鐵業振興ノ根本方策ニ關スル問題ガ多年ノ懸案トナリテ今ニ解決セラレザルハ吾人ノ憂慮措ク能ハザル所ナリ今ヤ國際的軍備ノ縮小ヲ實現セリト雖モ内面ニ於テハ列強競テ國力ノ充實ニ努メ他日ノ備ニ汲々タルノ秋ニ當リ我國策トシテ有事ノ日ニ在リテハ國防ノ最大要素タリ平時ニ在リテハ産業ノ基礎タル製鐵業ヲ維持發展スルガ爲一大努力ヲ玆ニ致サバルベカラザル緊急時機ナルニ拘ハラズ三年以來論議ヲ盡シタル本問題ニ就テ荏苒日ヲ送り未ダ何等ノ進捗ヲ見ザルハ豈甚シキ緩慢ニアラズトセンヤ

一方經濟上ノ方面ヨリ觀察スルニ年來對外貿易ノ統計ニ於テ鐵鋼類ハ常ニ輸入ノ最大部分ヲ占メ之ヲ償フモノ獨リ生絲アルノミニシテ而カモ生絲ノ海外需用ガ將來甚ダ多キヲ期待スルコト能ハザルニ反シ鐵鋼類ノ内地需用ハ年々歲々著シク増大スルノ事實ニ想到スルトキハ今後内地ニ於テ製鐵業ヲ振興シ鐵鋼類ノ輸入ヲ制減スルニ非ザレバ將來貿易状態ヲ改善シ國富ヲ増進スルノ方途トシテ他ニ良策ナキヲ感ゼズンバ非ザルナリ

島岡亮太郎君 井上匡四郎君 加茂 正雄君

嘗テ一部ノ論者ハ本邦ニ於ケル製鐵原料ノ豊富ナラザルヲ以テ斯業ノ前途ヲ危ミタリト雖モ東亞ニ於テ形勝ノ地利ヲ占メタル本邦ニ於テハ四隣ノ供給易々タルモノアリ且ツ工業先進國トシテ夙ニ活躍シ來リタル勢力ヲ利用シ經營其ノ宜ヲ得テ奮闘努力スルニ於テハ永ク東亞製鐵界ノ覇ヲ唱フルコト敢テ難事ニアラズ

然ルニ本邦製鐵業ノ現状ニ於テハ官民對峙シテ互ニ顧慮遂巡シ官業ハ官制ニ拘束セラレテ機敏ノ營業ヲ爲ス能ハザルノミナラズ動モスレバ民業壓迫ノ聲ニ恐レテ果斷ノ措置ヲ憚リ民業ハ巨大ナル官業ヲ對手トシテ常ニ威壓ヲ感ズルガ故ニ奮テ飛躍發展ヲ畫スル能ハズ又民間製鐵業ハ概シテ其ノ設備未ダ完カラズ製銑製鋼製品ヲ通ジテ聯絡一貫スルニ非ザレバ完全ナル發達ヲ期シ難キニ拘ハラズ單ニ其ノ一部分ヲ營ム偏業少ナカラズ互ニ不便ヲ感ズルコト痛切ナルモノアリ此等ハ孰レモ能率ヲ發揮シ經濟的ナル作業ヲ營ム上ニ多大ノ障害ヲ爲シ其ノ結果鐵界不況ノ打擊ヲ蒙ルコト外國ニ比シテ一層甚シク相共ニ日ヲ逐テ益々難境ニ陥リ殆ド瀕死ノ狀態ニ沈淪スルモノアルハ眞ニ遺憾ニ堪エザルトコロナリ形勢斯ノ如クナルニ拘ハラズ之ヲ救済シ之ヲ振興セシムル方策ノ實行ヲ徒ラニ遲延スル時ハ萎靡其ノ極ニ達シタル本業ハ遂ニ再び起ツ能ハザルニ至リ結局隣國ニ機先ヲ制セラル、コト決シテ杞憂ニアラザルナリ

本邦製鐵業現下ノ難關ヲ排除シ之ヲ永遠ニ振興セシムル方策ニ就テハ曩ニ臨時財政經濟調查會ニ於テ決議シ又大正九年十二月本會ニ於テ製鐵業振興方策トシテ提出シタル建議書ノ一章ニ論ジタル合同整理ニ依リテ統一的經營ヲ爲スヲ以テ第

一要義トスル事世間既ニ定論トシテ認メラルル所ナリ蓋シ製鐵業ノ合同ニ依リテ舉グベキ利益ハ之ヲ細密ニ互リテ數字的ニ計算セントスルモ合同ノ方法ニシテ決定セザル以上不可能ナルガ故ニ姑ク之ヲ略シ先ヅ其ノ概要ニ就テ考察スルニ原料ノ給供及運搬ヲ調和シ作業ヲ適當ニ按配シ技術ヲ共通シ製品ノ販賣ヲ統一スル等即チ從來ノ不統一ヨリ生ズル不利不便ヲ除却スルコト是則チ合同ノ大利益ニシテ大體ニ於テ利害得失一目瞭然タルモノアリ而シテ八幡製鐵所ヲ除外シタル合同ハ全然統一ノ意義ヲ爲サルヲ以テ必ズヤ此ノ最大ナル八幡製鐵所ヲ中樞トシテ各製鐵所ヲ合同整理シ之ニ由リテ斯業ヲ刷新シ一面國防ノ要素ヲ充實シ他而諸般工業ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルコト國家百年ノ大計上一日モ忽緒ニ付スベカラザル重大事ナリト信ズ

惟フニ製鐵業振興方策トシテ合同整理ノ案ハ政治方面並ニ經濟方面ニ於テ有識ノ士舉テ之ヲ贊シ朝野一般ニ其ノ必要ヲ認識スル所ナルヲ以テ此ノ際官民各々公明正大ナル國家的見地ヲ以テ此ノ方策ヲ實行スルハ眞ニ目下ノ急務ナリトス希クハ政府ニ於テ速ニ適當ノ機關ヲ作り本邦製鐵業合同整理ノ實行方法ヲ講ゼラレンコトヲ右本會評議員會ノ決議ニ因リ茲ニ建議ス

大正十一年十二月

◎圖書寄贈

大正十一年十一月二十八日今泉嘉一郎氏より、左記圖書百五十四部の寄贈を受けたり。

工學會誌(合本) 自第百號至第百二十號

同 自第百二十一號至第百四十八號

日本鑛業會誌(合本)

自第七十一號至第九十四號

同 自第九十五號至第百二十八號

日本鑛業新聞(合本)

大正五年自八月至十二月

同 大正六年自一月至四月

同 大正六年自五月至八月

鑛業新報(合本)

自大正三年三月至同六年二月

中外英字新聞(合本)

自一九三〇年十月十五日至同年十二月三十日

小坂鑛山

製鐵事業調查報告書

製鐵事業調查報告書參考材料

製鐵事業調查報告附錄 卷一及卷二

日本鑛產地

芝浦製作所

小坂鑛山鑛業誌

瀧めぐり

日米問題實力解決策

東亞現勢誌

防長名蹟

錦の御旗

第十三次農商務統計表

海運近況

大正七年中の海運概況

大正八年海運概況

時局に關する教育資料

海事摘要

歐洲大戰後に於ける各國造船業概況

運賃及定期備船料

福岡縣案内

筑豊石炭鑛業要覽

明治專門學校寫真帖

海外各地在留邦人職業別人口表(大正九年六月末現在調)

遞信省年報 第三十三回

Desk Dictionary

製鐵事業現狀調查參考資料 三冊

Carl Zeiss,

國勢調查職業分類內容例示

日本帝國文部省第四十六年報 自大正七年四月至同八年三月

大正十年度朝鮮總督府參考書

Text book of Chemistry.

Imperial Import Tariff

佛語學簡易の譯文論

Deutscher Hochschule Kalender.

第四十五回帝國議會 大正八年度決算

Elementar buch Französischen Sprache.

Le Tour Du Monde En Quatre-vingts Jours.

An Introduction to the Study of Minerals. By I. Fletcher. M. A. F. R. S

Ingenieur-Kalender. 1905

Lectures on Mining. By W. W. Smyth.

Statistical Abstract for Osaka. 1902

Preis-Kurant und Normal-Dimensions-Tabellen für Walzeis

Mining Industry of Japan. 1867-1892

Treaty of Peace Between the Allied and Associated Powers and Austria.

Protocol and Declaration. (English Text)

同 4 (Texte Francais)

大正六年度歳入歳出決算書類 四部

大正七年度歳入歳出決算書類 二部

大正八年度歳入歳出決算書類 二部

大正九年度歳入歳出決算明細書類 七部

大正十年度歳入歳出決算明細書類 十五部

Industry Illustrated. 1922年自一月至十月

Industrial Commercial Japan. 1902

- The Times Weekly Edition Japanese; Section: 1922
- Stahl und Eisen. 七號
- Minig and Metallurgy. 1922年一月以下十二號
- Bilaspur District Gazetteer A volume
- Imperial Gazetteer of India, p. Series.
- Post office Guide, January 1912
- Review of the Trade of India in 1911-12
- Records of The Geological Survey of India vol. XIII, XVIII, XX, XXI, XXXIII, XXXVIII, XXXIX.
- The Tata Iron & Steel Co. Ltd. Satehi, India, 19113
- The Tata Iron & Steel Company, Limited 1911
- 其他 雜書 二十部

◎發明品博覽會開催

明年三月二十日より同年五月十八日迄東京市上野公園不忍池畔に於て開催せらるゝ第三回發明品博覽會は帝國發明協會の主催に係るものなるが、今回同會より出品方勧誘に接したるに付右希望者は奮て出品せらるべし。

尙詳細は東京市丸ノ内有樂町一ノ一同會に照會せらるべし

◎入退會者

前記評議員會に於て入退會を承認せられたる會員左の如し

入會者 (住所及職業)

| | | |
|----------------------|----|-------|
| 仙臺市東北帝國大學金屬材料研究所、工學士 | 正員 | 内田西八郎 |
| 東京帝國大學工學部鐵冶金科副手、工學士 | 同 | 高橋秀顯 |
| 牛込區早稻田大學理工學部助教 | 同 | 鹽澤正一 |
| 同上 | 同 | 野村松三 |
| 同上 | 同 | 師岡秀磨 |
| 同上 | 同 | 三宅當時 |

| | | |
|-------------------------|----|----------|
| 京橋區日吉町十五、機械輸入業、工學士 | 同 | 小長井 潔 |
| 名古屋市南區大井町三菱内燃機株式會社名古屋工場 | 准員 | 上野權作 |
| 京橋區南紺屋町田中鑛山株式會社 | 同 | 鹽谷謙二郎 |
| 退會者 (住所及職業) | | |
| 市外戸塚町伊勢原七九二、工學士 | 正員 | 三野熊雄 |
| 麴町區二番町二、谷崎工業所長 | 同 | 谷崎安太郎 |
| 麴町區有樂町一ノ四 | 同 | 東北電化株式會社 |
| 市外大崎町 | 同 | 日本精工株式會社 |
| 臺灣新營庄鹽水製糖拓殖會社 | 准員 | 守田龍生 |
| 日本橋區兜町三、山一合資會社 | 同 | 堀田正由 |
| 日本橋區本材木町二ノ一五 | 同 | 林慶次郎 |

◎轉居

前號報告後轉居者の新住所左の如し。

| | |
|-----------------------|-------|
| 府下荏原郡入新井町字不入斗八八六 | 森 秀雄 |
| 奈良市高天町一二、東邦電力株式會社奈良支店 | 高柳憲次 |
| 福島縣若松市榮町四ノ四二九 | 船木章二郎 |
| 大阪市南區天王寺北山町五四六一 | 川部彦九郎 |
| 神戸市生田町三ノ八九 | 竹内正彦 |
| 市外中野町字大塚一五九六 | 細矢 尙 |
| 大阪市西區島屋町汽車製造株式會社 | 太田三吉 |
| 埼玉縣川口町農商務省燃料研究所 | 濱田清七 |

前本會評議員、東京帝國大學教授、工學博士 田中不二君は大正十一年十一月十八日逝去せらる誠哀悼の至りなり